※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | ２１１ |
|---|---|

# 令和８年度　地歴公民科

| 教科 | 公民 | 科目 | 政治経済 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「最新　政治・経済」　（実教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 「新版　最新政治・経済資料集」　（第一学習社） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代の政治・経済は複雑で、グローバルな社会の中で一国だけでは解決できない問題も多々起きている。そのような社会を読み解き、今生きている社会をよりよいものにするための基本的な知識を得、考察し、実行する力を、「政治・経済」をまなぶことでつけてほしい。そのためには教科書・資料集をしっかり読みこなし、さらに幅広いメディアからの情報収集を行ってもらいたい。

## 2　学習の到達目標

社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。

国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用し、現実社会に見られる複雑な課題を把握し説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して合意形成や社会参画に向かう力を養わせる。

よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、国民主権を担う公民として自国を愛し、その平和と繁栄の発展に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めさせる。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 政治・経済の基本的な事項・課題について理解し、その知識を身につけている。<br>様々なマスメディア・資料・書籍・インターネットなどから、必要な情報を収集し、効果的に活用して学ぶ力を身につけている。 | 現代の政治・経済が抱える問題を見出し、幅広い視野で考察し、公正な判断をし、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 | 現代政治・経済の基本のしくみを理解し、問題点についての関心を深め、その解決法を意欲的に考えようとする。主権者意識を持ち、積極的に政治参加しようとする。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

4 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 第１編１章１<br>民主政治と法 | 政治，国家，法のあり方について考える。〃 | a: 政治と国家，政府が何であるかを理解している。<br>・法の意義と役割のほか，法の分類についても理解している。〃<br>b: 政治とはどのような営みか，自身の身近な事例にも言及しながら考察し，適切に表現している。<br>c: 国民主権を担う公民としての自覚をもとに，民主政治のあり方や法の意義などについて主体的に理解・追究しようとしている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |
| | 〃第１編１章２<br>民主政治の基本原理〃 | ・基本的人権の歴史的発展や法の支配について理解する。 | a: ・基本的人権の歴史的発展について理解している。<br>・法の支配や立憲主義について理解している。<br>b: ・基本的人権や法の支配の重要性について，歴史的背景にも言及しながら考察し，それらを適切に表現している。<br>c: ・国民主権を担う公民としての自覚をもとに，基本的人権や法の支配の重要性などについて主体的に理解・追究しようとしている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |
| | 第１編１章３<br>民主政治のしくみと課題 | ・民主政治のしくみと課題を理解したうえで，権力分立と立憲主義の重要性を理解する。 | a: ・民主政治のしくみと課題を理解している。<br>・権力分立と立憲主義について，その重要性を理解している。<br>b: ・多数決の長所と短所について，自身の身近な事例にも言及しながら協働的に考察し，適切に表現している。<br>c: ・国民主権を担う公民としての自覚をもとに，民主政治の課題について主体的に理解・追究しようとしている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第１編１章４<br>世界のおもな政治制度 | ・世界の国々が採用している議院内閣制と大統領制より各政治制度の特徴を理解する。 | a: ・議院内閣制・大統領制をはじめとする各国の政治制度の特徴について，民主政治の諸原理にも着目しながら理解している。<br>b: ・各国の政治制度の共通点・相違点について，立法府と行政府に着目しながら比較・考察し，適切に表現している。<br>c: ・国民主権を担う公民としての自覚をもとに，現実の政治制度に関する課題について主体的に理解・追究しようとしている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |
| | 第１編２章１<br>日本国憲法の成立<br><br>第１編２章２<br>日本国憲法の基本原理 | ・日本国憲法の成立過程を踏まえつつ，明治憲法との違いを理解する。 | a: ・日本国憲法の成立過程を理解している。<br>・二つの憲法の原理と相違点について理解している。<br>b: ・日本の憲法改正手続きについて，その運用上の課題について協働的に考察し，適切に表現している。<br>c: ・憲法の最高法規性や日本国憲法の原理，改正手続きなどについて主体的に理解・追究しようとしている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第１編２章３<br>自由に生きる権利(1)<br><br>第１編２章４<br>自由に生きる権利(2)<br><br>第１編２章５<br>平等に生きる権利<br><br>第１編２章６<br>社会権と参政権・請求権 | ・自由権の内容について理解する。<br>・平等権の内容について理解する。<br>・社会権の内容について理解する。 | a: ・自由権・平等権・社会権などの諸権利の内容について，各種判例も踏まえながら理解している。<br>・冤罪や死刑制度，さまざまな差別，生存権の保障など，人権に関する現実社会の課題について理解している。<br>b: ・自由権，平等権，社会権について，各種判例や自身の身近な事例などと結びつけながら協働的に考察し，適切に表現している。<br>・日本国憲法における人身の自由について，適切に表現している。<br>・差別を解消すべき理由について，『公共』で学んだ「人間の尊厳」や「個人の尊重」といった視点に立ちながら，適切に表現している。<br>・社会権の保障について，協働的に考察し，適切に表現している。<br>c: ・基本的人権が保障されていることの意義を知り，関心が高まっている。また，たとえば平等権と社会的な差別の諸課題について多面的かつ主体的に考察し，よりよい社会の実現を視野に，学習したことを社会の改善に生かそうとしている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第１編２章７<br>新しい人権<br><br>第１編２章８<br>人権の広がりと公共の福祉 | ・新しい人権について理解する。<br>・公共の福祉について理解する。 | a: ・環境権・知る権利・プライバシーの権利などの新しい人権の内容とそれらの権利が主張されるようになった背景について理解している。<br>・公共の福祉の具体的な事例を信頼性の高い情報源から収集し，知識の補強といった形で適切に扱うことができている。<br>b: ・現実社会の問題の解決と個人の権利との調整について，生徒みずからが調べて収集した具体的な事例にもとづきながら協働的に考察し，適切に表現している。<br>・在日外国人の権利について，協働的に考察し，適切に自分の考えを表現している。<br>c: ・新しい人権について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。<br>・公共の福祉について主体的に追究することを通して，個人と個人の権利の衝突を調整の方法を社会生活に生かそうとしている。 | | | |
| | 第１編２章９<br>平和主義と自衛隊<br><br>第１編２章10<br>日米安全保障体制の変化<br><br>第１編２章11<br>21 世紀の平和主義 | ・日本の安全保障政策の展開について理解する。<br>・こんにちの安全保障政策の課題について理解する。 | a: ・日本国憲法の平和主義の内容と日米安保体制がうまれた背景について理解している。<br>・日本の安全保障をめぐる現状と課題，自衛隊の海外活動の現状といった諸情報を信頼性の高い情報源から収集し，知識の補強といった形で適切に扱うことができている。<br>b: ・防衛関係費と社会情勢との関係について，多面的に考察している。<br>c: 我が国の安全保障と防衛について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第１編３章１<br>政治機構と国会<br><br>第１編３章２<br>内閣と行政機能の拡大 | ・国会の役割や権限について理解する。<br>・内閣の権限と議院内閣制について理解する。 | a: ・国会の役割や権限，運営について理解している。<br>・内閣の権限や議院内閣制のしくみについて理解している。<br>b: ・「国会はなぜ国権の最高機関とされるのか」といった議題について考え，適切に表現している。<br>・議員立法に関する情報を読み取り，その課題について多面的に考察している。<br>c: ・日本の政治機構について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。<br>・行政権の拡大について関心を深めており，官僚政治と官邸主導のそれぞれの長所と短所について主体的に追求しようとしている。 | | | |
| | 第１編３章３<br>公正な裁判の保障 | ・司法制度のあり方や司法参加の意義について理解する。 | a: ・司法権の独立や裁判のしくみ，各裁判所の役割について理解している。<br>・裁判員制度や検察審査会の意義と役割について理解している。<br>b: ・裁判員制度の意義と課題について協働的に考察し，適切に表現している。<br>c: ・司法制度のあり方や司法参加の意義について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第１編３章４<br>地方自治と住民福祉 | ・地方自治の本旨や住民の権利について理解する。<br>・地方がかかえる課題について理解する。 | a: ・地方自治の本旨である，団体自治と住民自治について理解している。<br>・地方自治の政治・経済的な課題について理解している。<br>b: ・地方財政の課題を考察し，適切に表現している。<br>c: ・地方がかかえる課題の概要を理解したうえで，身近な地域の人口動向や防災面での課題，を探究するための意欲を高めている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |
| | 第１編３章５<br>政党政治<br><br>第１編３章６<br>選挙制度 | ・日本の政党政治の特徴と課題について理解する。<br>・日本の選挙制度の特徴と課題について理解する。 | a: ・政党政治や日本の政党政治の課題について理解している。<br>・選挙制度の課題，政治活動に関する規制の現状について，信頼性の高い情報源から収集し，適切に整理することができている。<br>b: ・日本の政党政治の課題について，「政治資金」や「政党間の競争」といった観点に立ちながら考え，適切に表現している。<br>・より公正な選挙制度のあり方について，「多様な民意の反映」や「政治の安定」といった観点に立ちながら多面的に考察し，適切に表現している。<br>c: ・選挙制度について関心を深めており，デジタル時代の選挙のあり方の課題を意欲的に解決しようとしている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第１編３章７<br>世論と政治参加 | ・マス・メディアや市民運動の意義について理解する。 | a: ・マス・メディアや市民運動が世論形成と政治にもたらす影響について理解している。<br>・政治的無関心や無党派層の増加などの課題について理解している。<br>b: ・SNS やインターネットの普及が世論形成に与えるメリットとデメリットについて多面的に考察し，適切に表現している。<br>・政治への参加について協働的に考察し，適切に表現している。<br>c: ・政治参加と公正な世論の形成について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |
| | 第２編１章１<br>経済活動の意義<br><br>第２編１章２<br>経済社会の変容 | ・経済的な効率性と公平性の対立関係について考える。 | a: ・資本主義経済の成立と展開，経済における政府の役割の変化について理解している。<br>b: ・資本主義経済の成立以降，経済社会がどのように展開していったか，政府の役割の変化と関連させて考察している。<br>c: ・資本主義経済と社会主義経済の特徴について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |
| | 第２編１章３<br>経済主体と市場の働き | ・経済主体を理解する。<br>・需給曲線を通して市場メカニズムを考える。 | a: ・希少な資源の効率的配分をもたらす市場機構や，寡占や独占，外部不経済，情報の非対称性など市場機能の限界について理解している。<br>b: ・市場経済における生産要素の効率的な配分や，政府の適切な施策について多面的・多角的に考察・構想したりしたことを，論拠をもって表現している。<br>c: ・市場メカニズムの働きや市場の限界について主体的に追究して，学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第２編１章４<br>企業の役割 | ・企業の役割と社会的責任について考える。 | a: ・株式会社の仕組みについて，株主と経営者との関係を理解している。<br>b: ・企業が従業員をはじめ，消費者や地域社会などに対してどのような責任を果たすべきか，協働的に考察・構想し，適切に表現している。<br>c: ・企業の社会的責任や法令順守の姿勢について主体的に追究して，企業の不祥事が相次いでいる現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |
| | 第２編１章５<br>国民所得<br><br>第２編１章６<br>経済成長と国民の福祉 | ・NI から三面等価の原則について考える。<br>・経済成長と私たちの豊かな生活について考える。 | a: ・現在においては，GDP などの経済指標では計りきれない福祉的側面からの指標や環境的側面からの指標，社会的側面からの指標などがあることを理解している。<br>b: ・景気変動による私たちの生活と企業の成長への影響や，政府による景気安定化政策について多面的・多角的に考察し・構想したりしたことを，論拠をもって表現している。<br>c: ・経済成長による経済的な豊かさと幸福について，数値化することが困難な経済活動や生活の諸行動をどのように評価するべきかという観点から，主体的に考えを導きだそうとしている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 第２編１章７<br>金融の役割<br><br>第２編１章８<br>日本銀行の役割 | ・金融を通した経済活動の活性化について考える。<br>・中央銀行の役割について理解する。 | a: ・金融は，信用創造等により，社会を豊かに発展させる役割を担っていることを理解している。<br>・中央銀行の役割や金融政策の目的と手段について理解している。<br>b: ・景気のそれぞれの局面に対処するため，日本銀行がどのような政策をとっているか，企業との関係も含めて多面的・多角的に考察，構想したりしたことを，論拠をもって表現している。<br>c: ・金融技術の革新について主体的に追究して，それらをよりよい社会の実現を視野にしながら生かそうとしている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |
| | 第２編１章７<br>金融の役割<br><br>第２編１章８<br>日本銀行の役割 | ・金融を通した経済活動の活性化について考える。<br>・中央銀行の役割について理解する。 | a: ・金融は，信用創造等により，社会を豊かに発展させる役割を担っていることを理解している。<br>・中央銀行の役割や金融政策の目的と手段について理解している。<br>b: ・景気のそれぞれの局面に対処するため，日本銀行がどのような政策をとっているか，企業との関係も含めて多面的・多角的に考察，構想したりしたことを，論拠をもって表現している。<br>c: ・金融技術の革新について主体的に追究して，それらをよりよい社会の実現を視野にしながら生かそうとしている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |
| | 第２編１章９<br>財政の役割と租税<br><br>第２編１章10<br>日本の財政の課題 | ・財政の持つ様々な役割について考える。<br>・日本の財政の現状を理解し，これからの財政のあり方を考える。 | a: ・財政に求められる機能について理解している。<br>・日本の財政の現状と課題について理解している<br>b: ・一般会計の歳入・歳出について，一部項目が大きく増加した背景を考察し，適切に表現している。<br>c: ・日本の財政の現状と課題を理解したうえで，財政再建について興味関心をもち，歳出減と歳入増の両面から再建のための方策を積極的に探究するための意欲を高めている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第２編２章１<br>日本経済の成長と課題 | ・歴史的な事象が日本経済に与えた影響を考える。<br>・人口減少社会と格差・貧困が経済に与える影響を考える。 | a: ・戦後復興，高度経済成長，バブル経済の発生と崩壊などの背景や要因について理解している。<br>・現在の日本の産業構造や GDP に占める各産業の割合，産業別の労働生産性などを信頼性の高い情報源から収集し，適切に整理することができている。<br>b: ・今後の日本経済のあり方について，収集した諸情報にもとづいたうえで，「効率性」と「公平性」といった観点も踏まえながら多面的・多角的に考察し，表現している。<br>c: ・今後の日本経済がどのような豊かさを目指していくべきかについて主体的に追究して，よりよい社会の実現を視野に学習したことを社会生活に生かそうとしている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |
| | 第２編２章１<br>日本経済の成長と課題 | ・歴史的な事象が日本経済に与えた影響を考える。<br>・人口減少社会と格差・貧困が経済に与える影響を考える。 | a: ・戦後復興，高度経済成長，バブル経済の発生と崩壊などの背景や要因について理解している。<br>・現在の日本の産業構造や GDP に占める各産業の割合，産業別の労働生産性などを信頼性の高い情報源から収集し，適切に整理することができている。<br>b: ・今後の日本経済のあり方について，収集した諸情報にもとづいたうえで，「効率性」と「公平性」といった観点も踏まえながら多面的・多角的に考察し，表現している。<br>c: ・今後の日本経済がどのような豊かさを目指していくべきかについて主体的に追究して，よりよい社会の実現を視野に学習したことを社会生活に生かそうとしている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第２編２章２<br>中小企業と農業 | ・経済の二重構造に注目して日本経済のあり方を考える。<br>・農業の自由化を背景として改革が進められている農政について考える。 | a: ・中小企業と大企業の違いを理解している。<br>・ベンチャー企業や社会的企業のように，大企業では事業を進められなかった分野で活躍する中小企業のあり方について理解している。<br>・中小企業を支援すべき理由について，適切に整理することができている。<br>・農家数の推移や農家の構成などを適切に読み取り，日本の農業における担い手の問題を理解している。<br>b: ・日本経済の基盤ともいえる中小企業が，自立的に成長していける環境を作り出すためにどのような政策が必要か，協働的に考察し，その結果を適切に表現している。<br>・持続可能な農業への取り組みと消費者とのかかわりについて多面的・多角的に考察し，表現している。<br>c: ・食料安全保障について主体的に追究し，自給率向上などの日本農政の課題を意欲的に解決しようとしている。<br>・中小企業をめぐる現状を理解したうえで，ベンチャー企業のあり方について興味関心をもち，「起業」について探究するための意欲を高めている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 〃第２編２章３<br>消費者問題<br>〃 | ・消費者行政の内容を知り，契約の権利と責任の関係を考える。 | a: ・典型的な消費者問題や悪質商法にはどのようなものがあるか理解している。<br>・消費者保護基本法から消費者基本法にいたる消費者行政の内容を知り，求められる消費者像の変遷について理解している。<br>b: ・消費社会の拡大や過度な宣伝等について問いを見出し，消費者主権や消費者の権利の観点などから協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。<br>c: ・よりよい社会の実現を視野に，消費者問題について学習したことを社会生活に生かそうとしている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |
| | 第２編２章４<br>公害防止と環境保全 | ・経済成長と公害問題との関係を考える。 | a: ・政府による公害対策や環境保全のための法整備について理解している。<br>・循環型社会の理念を理解している。<br>b: ・環境保全と経済活動の両立について協働的に考察したうえで選択・判断し，それらを適切に表現している<br>c: ・よりよい社会の実現を視野に，循環型社会の実現に向けた諸施策など学習したことを，社会生活に生かそうとしている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |
| | 第２編２章５<br>労働問題と労働者の権利<br><br>第２編２章６<br>こんにちの労働問題 | ・労働法の整備状況や，職場の人権保障について考える。<br>・日本的雇用形態の変化や，ワーク・ライフ・バランスについて考える。 | a: ・労働基本権と労働三法の内容について理解している。<br>・具体的な労働問題について理解している。<br>・日本の労働環境について，特徴を適切に読み取り，まとめることができている。<br>b: ・どうすれば職場における不当な差別的取り扱いが解消できるのか，多面的に考察している。<br>c: ・よりよい社会の実現を視野に，ワーキングプアの解消やワーク・ライフ・バランスの実現を目指して，学習した内容を社会生活に生かそうとしている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第２編２章７<br>社会保障の役割と課題 | ・少子高齢化や日本の財政の現状も踏まえながら，今後の課題を理解する。 | a: ・社会保障は高齢者だけのものではなく，社会に参加するすべての世代について検討されるべきものであることを理解している。<br>・各国の社会保障のしくみを，長所と短所を比較する形で適切に整理することができている。<br>b: ・日本の社会保障制度の現状と課題について，多面的・多角的な観点に立ちながら考察し，適切に表現している。<br>c: ・安心して暮らせる豊かな社会について主体的に追究して，社会保障を社会の中で有効に働かせるための課題を意欲的に解決しようとしている。<br>・よりよい社会の実現を視野に，ノーマライゼーションの進展について学習したことを社会生活に生かそうとしている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |
| | 第１編<br>現代の国際政治<br><br>第１編１章１<br>国際社会と国際法<br><br>第１編１章２<br>国際社会の変化 | ・二度の世界大戦が国際法と国際政治に与えた影響について考える。 | a: ・二度の世界大戦を契機として，国際法に大きな変化が生じたことを理解している。<br>b: ・領土問題について問いを見出し，平和的に解決する観点から協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。<br>c: ・よりよい社会の実現を視野に，主権国家間の国家利益を調整することについて学習したことを，他者との利害調整といった社会生活に生かそうとしている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第１編１章３<br>国際連合と国際協力 | ・主要機関や専門機関の働きから考える。<br>・安保理改革などを材料に国際連合の課題を考える。 | a: ・国際連盟と国際連合の違いについて，必要な情報を適切に読み取ることができている。<br>・国連が取り組む課題について，適切に整理することができている。<br>b: ・国際連合が抱えている課題について，採決や財政の観点などから協働的に考察し，それらを適切に表現している。<br>c: ・国際連合の専門機関が取り扱っている人権や社会，経済や環境問題に関する行動について主体的に追究し，国際的な課題を意欲的に解決しようとしている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |
| | 第１編１章４<br>こんにちの国際政治 | ・大国の動向や，国家対国家の枠組みに収まらない対立構造について考える。 | a: ・国家間の戦争が対テロ戦争の様相を示しだした経過を理解している。<br>・冷戦終結後の「平和に対する脅威」の具体例について，適切に整理することができている。<br>b: ・冷戦終結後に地域・民族紛争が多発したことについて，その要因を多面的・多角的に考察している。<br>c: ・国際社会における法の支配について主体的に追究し，各国の国益を超えた問題解決に向けて意欲的に考察している。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |
| | 第１編１章５<br>人種・民族問題 | ・ナショナリズムや自民族中心主義との関係から人種・民族問題を考える。 | a: ・多民族国家としてマイノリティを抑圧しないために，多文化主義に立つことが重要であることを理解している。<br>b: ・難民や国内避難民について，どのような援助が必要とされているのかを協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。<br>c: ・難民や国内避難民について主体的に追究し，いかにしてその支援等に寄与することができるかなど，意欲的に解決しようとしている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第１編１章５<br>人種・民族問題 | ・ナショナリズムや自民族中心主義との関係から人種・民族問題を考える。 | a: ・多民族国家としてマイノリティを抑圧しないために，多文化主義に立つことが重要であることを理解している。<br>b: ・難民や国内避難民について，どのような援助が必要とされているのかを協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。<br>c: ・難民や国内避難民について主体的に追究し，いかにしてその支援等に寄与することができるかなど，意欲的に解決しようとしている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |
| | 第１編１章６<br>軍拡競争から軍縮へ | ・核兵器禁止条約の採択に向けた動きを参考にして考える。 | a: ・核廃絶に向けた運動が盛り上がるなか，数々の軍縮条約が締結されていった経過について理解している。<br>b: ・核保有国を増やさないためにはどのようなことが必要か，多面的・多角的に考察している。<br>c: ・核兵器禁止条約について主体的に追究し，賛成を表明した国と反対した国の主張を比較して，さらに多くの国が参加するためには何が必要なのか，意欲的に検討し解決しようとしている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |
| | 第１編１章７<br>日本の外交と国際社会での役割 | ・アジア諸地域の信頼回復の経緯を確認する。<br>・人間の安全保障の観点から考える。 | a: ・戦後の主権回復と国際社会への復帰について，その経過を理解している。<br>・アジア諸国との国交正常化が進められる一方，賠償のあり方をめぐって裁判が繰り返されるなど，根本的な解決には至っていない現状を理解している。<br>b: ・日本の領土問題について，平和的な解決のために必要なことを多面的に考察している。<br>c: ・国際貢献の観点から主体的に追究し，政府レベルや企業レベル，市民レベルと，課題を意欲的に解決しようとしている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第２編<br>現代の国際経済<br><br>第２編１章１<br>貿易と国際収支<br><br>第２編１章２<br>外国為替市場のしくみ | ・外国為替市場における需要と供給の関係を確認する。<br>・具体的な事例を基にして為替相場の動向が経済に与える影響を考える。 | a: ・自由貿易のメリットを，比較生産費説をもとに理解している。<br>・円高や円安が日本経済に与える影響について，輸入業者や輸出業者の具体的な取引をもとに理解している。<br>b: ・日本経済にとって，円高傾向がよいのか円安傾向がよいのかについて，協働的に考察し，それらを適切に表現している。<br>c: ・自由貿易を推進するメリットと，近年先進国が保護貿易的な動きを見せていることについて主体的に追究し，望ましい貿易のあり方を意欲的に探究しようとしている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |
| | 第２編２章１<br>第二次世界大戦後の国際経済 | ・ドーハラウンドにおける先進国と途上国の対立や，二国間交渉への傾倒などから課題を考える。 | a: ・IMF と GATT に代表される国際経済体制について，その概要を理解している。<br>・GATT，WTO における多角的交渉が目指したものについて理解している。<br>b: ・公正な国際貿易体制とはどのようなものか，協働的に考察し，それらを適切に表現している。<br>c: ・公正な国際貿易体制のあり方について主体的に追究し，各国が従うべき貿易のルール作りに関する課題を意欲的に解決しようとしている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第２編２章２<br>国際経済の動向<br><br>第２編２章３<br>新興国の台頭 | ・各地域の状況を確認する。<br>・中国とインドについて，その現状と課題を理解する。 | a: ・各地域でどのような経済統合が形成されていったかについて理解している。<br>・世界経済が密接に関連しあい，グローバル・バリューチェーンを形成していることを理解している。<br>・急速な経済成長を進める中国とインドが，国内において多様な課題をかかえていることを理解している。<br>b: ・地域的経済統合がもつメリットとデメリットについて，自由と公正の観点から協働的に考察し，適切に表現している。<br>c: ・今後の日本が各国との貿易においてどのように主導的な役割を果たしていくべきか，意欲的に検討しようとしている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |
| | 第２編２章４<br>経済のグローバル化とICTでかわる世界経済 | ・ヒト・モノ・カネが自由に移動した結果，世界はこれまで以上に緊密化したことを確認する。 | a: ・グローバル化した世界において，多国籍企業の存在が大きくなっていることを理解している。<br>・金融のグローバル化の結果，資本の国際取引が活発になった一方で投機的資金の移動が実体経済を脅かすこともあることを理解している。<br>b: ・国際的な資本取引に対する金融規制をどう考えるかについて協働的に考察し，適切に表現している。<br>・グローバリゼーションがもたらすメリットとデメリットにはどのようなものがあるか，多面的に考察している。<br>c: ・よりよい社会の実現を視野に，グローバリゼーションと共生の課題について学習したことを，自らの生活圏内に生きる外国人労働者に対するまなざしの中で生かそうとしている | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 第２編２章５<br>発展途上国の課題と展望 | ・途上国間の経済格差について理解する。 | a: ・南北問題について，その背景と現状について理解している。<br>b: ・途上国の貧困削減の取り組みの進め方について多面的に考察し，適切に表現している。<br>c: ・よりよい社会の実現を視野に貧困を解消するための具体的な行動について積極的に考察し，社会生活に生かそうとしている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |
| | 第２編２章６<br>地球環境問題，資源エネルギー問題 | ・エネルギー資源の歴史と化石燃料が大量消費される背景を理解する。<br>・地球温暖化問題をめぐる現状と課題について理解する。 | a: ・化石燃料と再生可能エネルギーの特徴について，それぞれ理解している。<br>・パリ協定や SDGs の目標をめぐる現状と課題について理解している。<br>b: ・各国の二酸化炭素削減目標を踏まえながら，日本がその目標を達成・実現するための手段について協働的に考察し，適切に表現している。<br>c: ・地球温暖化や資源エネルギーをめぐる現状を理解したうえで，脱炭素社会の形成について探究するための意欲を高めている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |
| | 第２編２章７<br>経済協力と日本の役割 | ・援助と開発の過程について確認する。 | a: ・先進国による援助の中心として ODA がおこなわれてきたことを理解している。<br>・先進国の ODA 実績の動向について理解を深めている。<br>b: ・これからの日本の ODA のあり方について，多面的・多角的に考察し，適切に表現している。<br>c: ・国際社会における貧困と格差の解消について主体的に追究し，JICA による支援活動などについても興味を持ち，それらの課題を意欲的に解決しようとしている。 | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 定期考査<br>振り返り課題<br>ワークシート | 発問評価<br>授業態度 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第３編<br>国際社会における諸課題の探究 | ・グローバル化に伴う人々の生活や社会の変容，地球環境と資源・エネルギー問題，国際経済格差の是正と国際協力，イノベーションと成長市場，人種・民族問題や地域紛争の解決に向けた国際社会の取組，持続可能な国際社会づくりなどについて，取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察，構想し，よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明，論述させる。 | a: ・各課題に関連する知識（小学校および中学校で習得した概念などに関する知識や『公共』で身に付けた選択・判断の手掛かりとなる考え方，国際政治および国際経済の基本的な概念や理論など）を整理し，理解している。<br>b: ・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ，各課題の解決策を多面的・多角的に考察，構想し，持続可能な社会の形成に向けた自身の考えを説明，論述している。<br>c: ・よりよい社会の実現のために，国際社会の諸課題を主体的に追究し，他者との協働もはかりながら，多面的・多角的な考察・構想を通して意欲的に課題を解決しようとしている。 | 振り返り課題<br>ワークシート<br>小論 | 振り返り課題<br>ワークシート<br>小論 | 発問評価<br>授業態度 |

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度